

下地島空港における航空貨物取扱体制構築に向けた実証事業を開始

下地島エアポートマネジメント株式会社（以下、「SAMCO」）は、このたび、下地島空港において航空貨物取扱体制構築に向けた実証事業（以下、「本事業」）を開始します。

本事業は、宮古圏域における航空貨物輸送の強化・拡充に資する取組として、また環境変化に対応した航空ネットワークの拡充に向けた県内空港を活用した新たな航空貨物輸送による実証事業として、宮古島市及び沖縄県からそれぞれ委託を受けて実施するものです。

1. 背景

宮古島市では、離島という地理的特性に加え近年の農業生産量及び入域観光客数の増加等を受けて、同圏域における唯一の航空貨物輸送拠点である宮古空港の航空貨物取扱量は増加傾向にあります。

とりわけマンゴーをはじめとする農産物の出荷ピーク時や荒天による海況悪化時等、貨物が集中するタイミングにおいて頻繁に滞貨が発生している他、足下のコロナ禍においては宮古空港を発着する航空便が減便され、出荷ピークを迎える農水産物の滞貨を回避するため貨物臨時便が多く運航されている状況です。

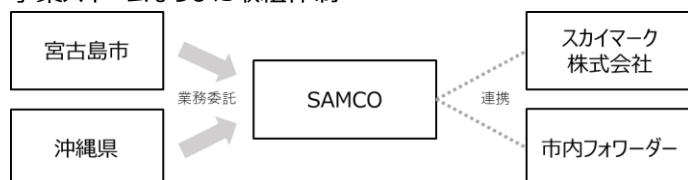
2. 本事業の概要/目的

下地島空港には現在貨物上屋をはじめとする貨物取扱施設がないため、空港敷地内に貨物計量及び一時蔵置のための簡易的な設備を設置し、貨物利用運送事業者（以下、「フォワーダー」）との連携により貨物の取り卸しができる体制を整備した上で、スカイマークが運航する定期便の一部での貨物輸送を通じて貨物取扱体制構築に向けた調査や事業性の検証等を行います。

(1) 実証期間（予定）

2021年7月～2022年2月

(2) 事業スキームならびに取組体制



(3) 各社の役割

- ・SAMCO：全体統括、事業性検証、下地島空港における今後の航空貨物輸送に関する調査・検討等
- ・スカイマーク：貨物輸送及び輸送方法や品質管理等にかかるフォワーダー等との各種調整

3. 今後の展開

本事業を通じ 2022 年度以降の安定的・継続的な航空貨物取扱いを目指す他、将来的には下地島空港における貨物上屋の建設や国際貨物の取扱に向けた体制構築についても検討して参ります。

また、SAMCO では、今後も地域課題の解決に資する取組を通じて、宮古諸島の発展に貢献して参ります。

■ 下地島エアポートマネジメント株式会社の概要

商号：下地島エアポートマネジメント株式会社

(英文名称：Shimojishima Airport Management Co., Ltd.)

本店所在地：沖縄県宮古島市伊良部字佐和田 1727 番地

事業目的：空港ビルの管理運営、飲食物・物品の販売 等

資本金：3 億円

株主：三菱地所株式会社、株式会社國場組、双日株式会社

代表者：代表取締役社長 伴野 賢太郎

